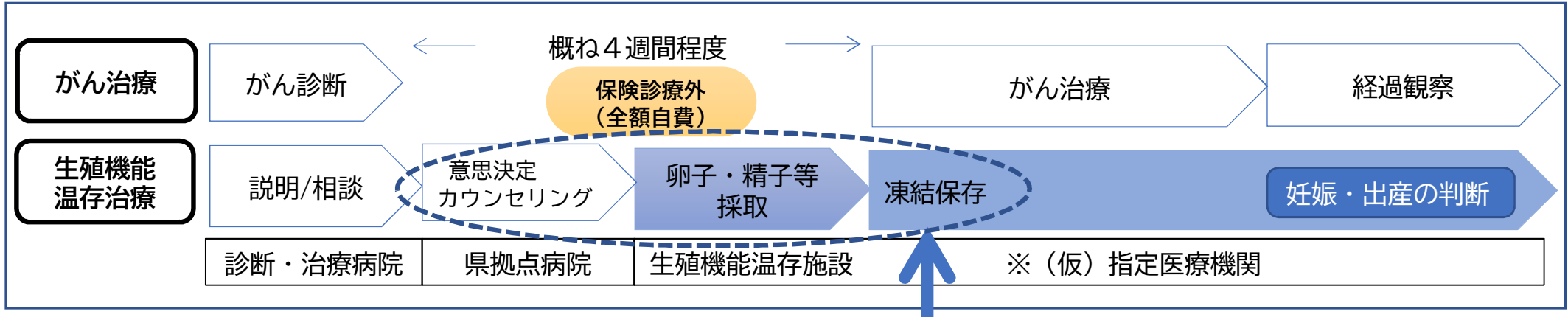


# 令和2年度がん患者生殖機能温存治療費助成制度概要（案）



## がん患者生殖機能温存治療費助成でフォロー

### がん患者の生殖機能温存とは

AYA世代のがん患者が、治療後に妊娠・出産することができるように、がん治療開始前に意思決定するための支援を受け、卵子や精子を凍結保存しておくこと。

### 助成制度の基本的考え方

がんと診断されたAYA世代の患者は、治療開始までの短期間で生殖機能温存の判断を迫られ、その精神的、経済的負担は計り知れない。その負担の軽減を目指す。  
がん治療と生殖機能温存で二重の経済的負担が生じるため所得制限は設けない。

- ### 医療費助成内容
- ◆卵子・精子等の採取に係る保険診療外医療費の助成（補助率1/2）
  - ◆凍結保存料の初年度分助成（補助率1/2）
  - ◆意思決定に伴う初回カウンセリング料の助成（補助率1/2）

### 制度目的

AYA世代のがん患者が、治療後に自らの判断で妊娠・出産を選択するための体制を整備することで、治療後の生活に希望をもってがん治療に臨み、将来の生活の質を担保する一助とする。

- ### 助成利用手続き
- ◆生殖機能温存治療終了後に書類を整える。
  - ◆所定の書類を県庁健康推進課宛てに簡易書留で郵送する。
  - ◆審査後、助成金が振り込まれる。

### 助成対象者

県内に住所を有する40歳未満のがん患者で、生殖機能温存を希望する方

### 所得制限

なし

がん患者及びその家族への制度周知 / 小児・AYA世代がん患者についての正しい知識の普及

がん医療・生殖医療従事者のネットワーク形成 / 人材育成 / 従事者の質の確保・維持